



第64期報 告 書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

ダイソーケミックス株式会社

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社事業につきまして、あたたかいご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第64期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



代表取締役

二宮 榮規

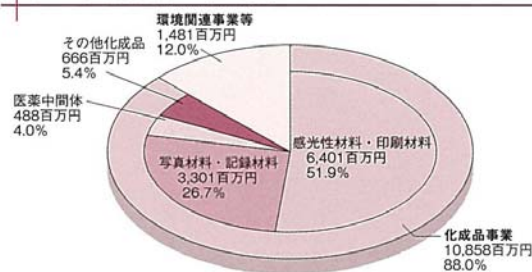
事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、各国政府が打ち出している経済対策の効果や新興国需要の拡大などを背景に、緩やかな回復傾向にあるものの、雇用情勢は失業率が高水準で推移し、デフレが緩やかに進行するなど、厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、当社グループは、販売の拡充やコスト削減に全力をあげるとともに、経営資源を研究開発に重点的に投入し、試作設備の充実化、評価・分析機能の強化を図り、次世代対応の感光性材料をはじめ、フラットパネルディスプレイ周辺材料、機能性材料、プリンター用記録材料、医薬中間体の新製品開発、廃棄物処理の特殊技術開発などに積極的に取り組みました。

しかしながら、当連結会計年度の売上高は、化成品事業の感光性材料が増加したものの、化成品事業の写真材料や医薬中間体、環境関連事業の減少により、前連結会計年度比1.4%減の123億40百万円となりました。経常損失は、経費の削減や生産性の向上などに取り組みましたが、原料費比率の上昇により売上原価が増加した結果、7億75百万円（前連結会計年度3億93百万円の損失）となりました。当期純損失は、8億74百万円（前連結会計年度10億57百万円の損失）となりました。

売上高構成比(連結)



事業別セグメント

【化成品事業】

当事業の売上高は、前連結会計年度比0.6%増の108億58百万円となりました。

1. 感光性材料及び印刷材料

半導体用感光性材料においては、第2四半期以降半導体市況が回復し、g線・i線用材料および次世代感光性材料いずれも販売数量、売上高が増加いたしました。

液晶用感光性材料は、液晶パネルの需要が回復したことにより、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

この結果、感光性材料及び印刷材料の売上高は、前連結会計年度比21.6%増の64億1百万円となりました。

2. 写真材料及び記録材料

写真材料においては、デジタル化の影響が浸透し、インスタント写真用材料、映画フィルム材料およびレントゲンフィルム材料いずれも販売数量、売上高が減少いたしました。イメージング材料は、液晶パネルの需要が回復したことにより、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

記録材料は、プリンター用材料の販売数量が減少したことにより、売上高も減少いたしました。

この結果、写真材料及び記録材料の売上高は、前連結会計年度比16.6%減の33億1百万円となりました。

3. 医薬中間体

医薬中間体は、国内向け主力製品の販売が終了いたしました。また、開発品は新薬承認の厳格化による需要の遅れで開発初期の試作が中心となりました。このため、販売数量、売上高ともに減少いたしました。

この結果、医薬中間体の売上高は、前連結会計年度比53.7%減の4億88百万円となりました。

4. その他化成品

架橋剤は、繊維改質材において市況の回復により販売が増加し、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

この結果、その他化成品の売上高は、前連結会計年度比28.5%増の6億66百万円となりました。

【環境関連事業】

当事業の売上高は、前連結会計年度比13.8%減の14億80百万円となりました。

環境関連事業では、産業廃棄物処理分野においては、関連する製造業の稼働率が低下したことより売上高は減少いたしました。化学品リサイクル分野は、堅調に推移し、売上高は前期並みとなりました。

なお、岸和田工場につきましては、平成22年3月末に建設工事が完成し、平成22年5月より操業を開始しております。

感光性材料及び印刷材料



写真材料及び記録材料



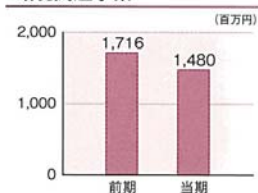
医薬中間体



その他化成品



環境関連事業



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当 平成22年3月31日現在	前 平成21年3月31日現在
(資産の部)		17,967	18,297
流動資産		6,949	8,610
現金及び預金		1,766	1,865
受取手形及び売掛金		2,528	1,975
有価証券		286	900
1 たな卸資産		2,055	3,639
その他		312	231
固定資産		11,018	9,687
2 有形固定資産		8,976	7,811
建物及び構築物		2,897	1,817
機械装置及び運搬具		2,373	1,728
土地		3,309	3,303
その他		395	962
無形固定資産		6	6
投資その他の資産		2,035	1,868
資産合計		17,967	18,297
(負債の部)		7,179	6,770
流動負債		3,686	2,403
支払手形及び買掛金		559	387
短期借入金		954	615
3 未払金		1,206	784
賞与引当金		236	241
その他		729	374
固定負債		3,492	4,367
社債		1,932	2,222
4 長期借入金		849	1,844
その他		710	300
(純資産の部)		10,788	11,527
株主資本		10,685	11,626
資本金		2,901	2,901
資本剰余金		4,421	4,421
5 利益剰余金		4,031	4,971
自己株式		△ 668	△ 667
評価・換算差額等		97	△ 98
新株予約権		5	—
負債・純資産合計		17,967	18,297

(前期比較)

POINT - 1

たな卸資産

財務体質を改善するため、たな卸資産を圧縮いたしました。

POINT - 2

有形固定資産

環境関連事業に係る設備投資により増加いたしました。

POINT - 3

未払金

環境関連事業に係る建設費用の未払いが増加いたしました。

POINT - 4

長期借入金

返済期限が1年以内となったものを短期借入金に振り替えいたしました。

POINT - 5

利益剰余金

純損失の計上により減少いたしました。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	期 前 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
1	売上高	12,340	12,516
2	売上原価	11,650	11,113
	売上総利益	690	1,403
	販売費及び一般管理費	1,405	1,668
	営業利益(△損失)	△ 715	△ 265
	営業外収益	124	105
	営業外費用	184	233
	経常利益(△損失)	△ 775	△ 393
	特別利益	—	9
3	特別損失	83	144
	税金等調整前当期純利益(△純損失)	△ 858	△ 528
4	法人税等	15	530
	少数株主利益	—	△ 0
	当期純利益(△純損失)	△ 874	△ 1,057

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(前期比較)

POINT - 1

売上高

主に化成品事業の「写真材料及び記録材料」・「医薬中間体」および環境関連事業が減収となりました。

POINT - 2

売上原価

原料費比率の上昇により増加いたしました。

POINT - 3

特別損失

前期は、投資有価証券評価損が発生いたしました。

POINT - 4

法人税等

前期は繰延税金資産を取崩しいたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	期 前 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
1	営業活動によるキャッシュ・フロー	1,389	588
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,488	△ 987
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 299	593
	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 13	10
	現金及び現金同等物の増減額	△ 412	204
	現金及び現金同等物の期首残高	2,465	2,260
	現金及び現金同等物の期末残高	2,052	2,465

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(前期比較)

POINT - 1

営業活動によるキャッシュ・フロー

主にたな卸資産の減少により増加いたしました。

POINT - 2

投資活動によるキャッシュ・フロー

環境関連事業に係る設備投資により減少いたしました。

POINT - 3

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に短期借入金、長期借入金の返済および社債の償還により減少いたしました。

当社ホームページにて決算情報等をご覧いただけます。

<http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm>

トピックス

日本エコロジー株式会社 岸和田工場完成

日本エコロジー株式会社岸和田工場は、岸和田市臨海町の大阪金属鉄工団地内に位置しており、敷地面積10,202.3m²、建築総面積3,650m²となります。平成22年3月末に建設工事が完成し、平成22年5月より操業を開始しております。

岸和田工場は廃液の処理能力が大阪工場の約3.5倍となり、処理可能な物質の種類とその処理能力において廃液処理施設としては国内でも最大規模のものとなります。今後は、さらにリサイクルケミカル施設を充実させ、環境適合・循環型社会の構築に大いに貢献してまいります。

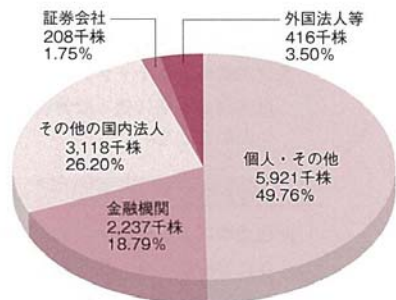


株式の状況 (平成22年3月31日現在)

株式総数・株主数

発行可能株式総数	47,900,000株
発行済株式の総数	11,900,000株
株主数	944名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	所有株式数	持株比率
東京応化工業株式会社	522 千株	4.77 %
日本生命保険相互会社	499	4.56
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	482	4.40
竹中一雄	475	4.34
ダイトーケミックス社員持株会	454	4.15
富士フイルム株式会社	439	4.01
株式会社三井住友銀行	371	3.39
住友商事株式会社	336	3.07
農林中央金庫	247	2.26
日本精化株式会社	201	1.84

(注) 持株比率は、発行済の普通株式の総数から自己株式942,577株を除いて計算しております。

会社の概況 (平成22年6月25日現在)

概要

商 号 ダイソーケミックス株式会社
(英文名：Daito Chemix Corporation)

本社所在地 〒538-0031
大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話 06 (6911) 9310 (代表)

設 立 昭和24年12月2日

資 本 金 2,901,163,150円

社 員 数 245名

主な営業品目 感光性材料、印刷材料、写真材料、
記録材料、医薬中間体、その他化成品

役員

〈取締役〉

代 表 取 締 役	二 宮 榮 規
取 締 役	新 木 隆 雄
取 締 役	永 松 真 一
取 締 役	根 津 欽 一郎
取 締 役	渡 辺 彰

〈監査役〉

常 勤 監 査 役	入 岡 修 一
監 査 役	越 智 賢 三
監 査 役	桑 原 豊

〈執行役員〉

執行役員社長	二 宮 榮 規
常務執行役員	新 木 隆 雄
執行役員	永 松 真 一
執行役員	根 津 欽 一郎
執行役員	永 田 晃 司
執行役員	山 田 基 昭
執行役員	福 村 俊 郎

事業所

東京オフィス 〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町二丁目15番1号
電話 03 (3669) 0261

大 阪 工 場 〒574-0044
大阪府大東市諸福八丁目3番11号
電話 06 (6911) 1271

静 岡 工 場 〒437-1424
静岡県掛川市浜野3110
電話 0537 (72) 2888

福 井 工 場 〒910-3137
福井県福井市石橋町31字118
電話 0776 (85) 1841

グループ会社

日本エコロジー株式会社

〒534-0025 大阪市都島区片町二丁目2-40大発ビル
電話 06 (6881) 0251
(産業廃棄物の処理および化学品のリサイクル)

ディー・エス・エス株式会社

〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話 06 (6911) 1559
(物流管理、生産・環境・設備保全等の業務請負)

岩手ケミカル株式会社

〒028-1113 岩手県上閉伊郡大槌町須賀町2番2号
電話 0193 (42) 7221
(感光性材料用原料、食品添加物、その他化成品の製造販売)

DAITO CHEMIX(CHINA) CO., LTD

〒318020 中国浙江省台州市黄岩区黄岩経済開発区輕化投資区永椒路
電話 +86-576-8416-7115
(感光性材料用原料、その他化成品の製造販売)

DAITO-KISCO Corporation

〒404-220 韓国仁川広域市西区石南洞223-48
電話 +82-32-584-4646
(感光性材料の製造販売)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 電子公告 公告掲載アドレス http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-176-417 (フリーダイヤル)
(インターネット ホームページアドレス)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
当社インターネット ホームページアドレス	http://www.daitochemix.co.jp
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第2部
証券コード	4366

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

【上場株式配当等の支払いに関する通知書について】

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りすることとなっています(同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります)。

なお、「支払通知書」は、株主様が確定申告をする際の添付資料としてご使用いただくことができます(株式比例配分方式を選択されている場合はお取引の口座管理機関(証券会社)へお問い合わせください)。



DAITO CHEMIX

ダイトケミックス株式会社

<http://www.daitochemix.co.jp>